



国民民主党は諦めない！！ トリガー発動、ガソリン減税！！

3月25日予算委員会にて、はまぐち議員が政府対応をいただきました

第213回
通常国会



【エネルギー高騰対策】

- 五月から再エネ賦課金上がり、試算では家庭で年間約1万円上昇。
国民民主党は「再エネ賦課金の一時停止法案」を国会に提出予定。
- ガソリンの補助金は4月末で終了。5月以降の出口戦略として、**補助金から「減税」「トリガー発動」に切り替える抜本的な対策が必要。**
- 実務面の課題含め具体的な対策案を提出済みだが、総理の2月6日「至急検討する」との答弁からレスポンス無し。
- **国民民主党はまだ諦めていない！**
トリガー発動・ガソリン減税実現に向けて真正面から取り組んでいく！



はまぐち誠 参議院議員



岸田総理大臣

【岸田総理大臣】の答弁は動画をご視聴ください。

【地方創生に向けた高速道路料金改革】（はまぐち誠 参議院議員）

- 日本が発展するためには、**地方創生の実現に向けた「人流・物流の活性化」が不可欠**であり、**高速道路を始めとした移動コストを下げる**ことが極めて重要。高速道路のワンコイン定額制料金の効果と課題を検証するため、「1年間限定」実施を提案したい。
- やれない理由を並べるのではなく、**地方から日本の「経済を変える」「競争力を高める」ため、是非とも総理のリーダーシップと判断で実施していただきたい。**

【岸田総理大臣】の答弁は動画をご視聴ください。

また、交通安全の観点より、G7の中で日本の交通事故死者数が多い1つの理由として、「歩車分離信号」の整備率の低さに着目し、**設置数増加に向けた指針見直しを強く訴え！**

尚、本質疑内容につきましては、インターネット審議中継にて録画をご覧になれます。

3月25日「参」予算委員会 はまぐち誠 <http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

